

様式第2号の1-①【(1) 実務経験のある教員等による授業科目の配置】

学校名	日本経済大学
設置者名	学校法人 都築育英学園

・福岡キャンパス

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
経済学部	経済学科	夜・通信	16	4	4	24	13	
	商学科	夜・通信			8	28	13	
	経営法学科	夜・通信			4	24	13	
	健康スポーツ経営学科	夜・通信			6	26	13	
	経営学科	夜・通信	2		8	26	13	
	グローバルビジネス学科	夜・通信			4	22	13	
	芸創プロデュース学科	夜・通信			6	24	13	
(備考) 設置後、完成年度を越えていない学科 ・ 芸創プロデュース学科 (平成31年度設置) ※経営法学科 (令和2年度以降、学生募集停止)								

・渋谷キャンパス

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
経営学部	経営	夜・通信	14	8	12	34	13	
	グローバルビジネス	夜・通信			10	32	13	
	芸創プロデュース	夜・通信			14	36	13	
		夜・通信						
		夜・通信						
(備考) ・ 芸創プロデュース学科 (平成31年度設置)								

・神戸・三宮キャンパス

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
経済学部	商学科	夜・通信		2	24	26	13	
		夜・通信						
		夜・通信						
		夜・通信						
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://www.jue.ac.jp/aboutus/release/> に記載

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	日本経済大学
設置者名	学校法人 都築育英学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.jue.ac.jp/aboutus/release/> に記載

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社代表取締役	R1.6.1 ～ R5.5.31	組織運営体制への チェック機能
非常勤	株式会社代表取締役	R4.4.1 ～ R8.3.31	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	日本経済大学
設置者名	学校法人 都築育英学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業計画(シラバス)の作成 担当科目が決定した段階で本学の学事システムに学習目標(到達目標)、授業概要(教育目的)、成績評価の方法、基準など所定の内容を入力 ・授業計画(シラバス)の公表 大学ホームページにて公表。公表時期は、3月下旬 													
授業計画書の公表方法	https://jue.tsuzuki.ac.jp/public/web/Syllabus/WebsyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx に記載												
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学則第14条(単位認定)及び履修規程第4章「単位」・第5章「試験」・第6章「成績」に基づき、授業計画(シラバス)記載の成績評価方法により、厳格かつ適正に評価し単位付与を実施している。</p>													
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>履修規程第26条(成績の評価区分)に基づき以下の通り実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績の教科区分 <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>100点～90点は「秀」</td> <td>GP「4」</td> </tr> <tr> <td>89点～80点は「優」</td> <td>GP「3」</td> </tr> <tr> <td>79点～70点は「良」</td> <td>GP「2」</td> </tr> <tr> <td>69点～60点は「可」</td> <td>GP「1」</td> </tr> <tr> <td>59点以下は「不可」</td> <td>GP「0」</td> </tr> <tr> <td>評価の対象外「欠席」</td> <td>GP「0」</td> </tr> </table> ※評価の対象外「欠席」とは定期試験を未受験の学生 ・計算方法は以下の通り $\frac{4 \times \text{「秀」単位数} + 3 \times \text{「優」単位数} + 2 \times \text{「良」単位数} + 1 \times \text{「可」単位数}}{\text{総履修登録単位数 (不可の単位数を含む)}}$ 		100点～90点は「秀」	GP「4」	89点～80点は「優」	GP「3」	79点～70点は「良」	GP「2」	69点～60点は「可」	GP「1」	59点以下は「不可」	GP「0」	評価の対象外「欠席」	GP「0」
100点～90点は「秀」	GP「4」												
89点～80点は「優」	GP「3」												
79点～70点は「良」	GP「2」												
69点～60点は「可」	GP「1」												
59点以下は「不可」	GP「0」												
評価の対象外「欠席」	GP「0」												
客観的な指標の算出方法の公表方法	2022 履修規程【情報公開第6号履修規程】.pdf (jue.ac.jp)												

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>各学部・学科のディプロマポリシー（学位授与の方針）、学修到達目標及び評価基準を定め公開している。</p> <p><ディプロマポリシー></p> <p>建学の精神に則り、教育課程の中から指定された単位を含め 124 単位以上を修得し、知識、社会適応力、総合的な学習経験を獲得し、即戦力である実学を身につけた者に対し、経済学部経済学科・商学科及び経営法学科の者にあつては学士（経済学）の学位を、同学部健康スポーツ経営学科の者にあつては学士（健康スポーツ経営学）の学位を、経営学部経営学科・グローバルビジネス学科及び芸創プロデュース学科の者にあつては学士（経営学）の学位を与え、学位記を授与する。</p> <p><卒業要件></p> <p>学則第 10 条（修業年限）および第 20 条（卒業要件）別表 2（卒業所要単位）に基づき、本学に 4 年以上在籍し、基礎科目 34 単位、専門科目 80 単位（うち必修科目 20 単位）、さらに基礎科目および専門科目から 10 単位修得し、合計 124 単位以上を修得すること。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>https://www.jue.ac.jp/wp-content/themes/jue-re-top/assets/images/pdf/jl_h29_kyoiku_03.pdf に記載</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	日本経済大学
設置者名	学校法人 都築育英学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.jue.ac.jp/aboutus/release/ に記載
収支計算書又は損益計算書	https://www.jue.ac.jp/aboutus/release/ に記載
財産目録	https://www.jue.ac.jp/aboutus/release/ に記載
事業報告書	https://www.jue.ac.jp/aboutus/release/ に記載
監事による監査報告(書)	https://www.jue.ac.jp/aboutus/release/ に記載

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: _____ 対象年度: _____)
公表方法:
中長期計画(名称: _____ 対象年度: _____)
公表方法:

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.jue.ac.jp/aboutus/release/ に記載

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第172条の2第1項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 経済学部及び経営学部
教育研究上の目的（公表方法： https://www.jue.ac.jp/wp-content/uploads/2022/04/2022%E5%AD%A6%E5%89%87%E3%80%90%E6%83%85%E5%A0%B1%E5%85%AC%E9%96%8B%E7%AC%AC1%E5%8F%B7%E5%AD%A6%E5%89%87%E3%80%914.4.1.pdf ）
（概要） 学則第1条（目的及び使命）経済学部及び経営学部共通 本学は「個性の伸展による人生練磨」を建学の精神として掲げ、教育基本法および学校教育法に従い、広く知識を受け、人格の陶冶に努めるとともに、深く経済に関する専門の学問を教授研究し、教養が豊かで実行力のある有為の人材を育成することを目的とし、学術の深化、文化の向上に貢献することを使命とする。
卒業の認定に関する方針（公表方法： https://www.jue.ac.jp/wp-content/themes/jue-re-top/assets/images/pdf/j1_h29_kyoiku_03.pdf に記載）
（概要） 情報公開第1号関係ディプロマポリシー 経済学部及び経営学部共通 建学の精神に則り、教育課程の中から指定された単位を含め124単位以上を修得し、知識、社会適応力、総合的な学習経験を獲得し、即戦力である実学を身につけた者に対し、経済学部経済学科・商学科及び経営法学科の者にあつては学士（経済学）の学位を、同学部健康スポーツ経営学科の者にあつては学士（健康スポーツ経営学）の学位を、経営学部経営学科・グローバルビジネス学科及び芸創プロデュース学科の者にあつては学士（経営学）の学位を与え、学位記を授与する。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： https://www.jue.ac.jp/wp-content/themes/jue-re-top/assets/images/pdf/j1_h29_kyoiku_03.pdf に記載）
（概要） 情報公開第1号関係カリキュラムポリシー ・ [経済学部] 経済学部では、「個性の伸展による人生練磨」という建学の精神に基づいて、経済学・商学・経営法学（令和2年度：学生募集停止）・健康スポーツ経営学の各分野に係わる専門の学芸を教授し、幅広く深い教養及び総合的な判断力を培うとともに、豊かな人間性を涵養し、柔軟性のある人材を育成することを目的に、全学科に共通の「基礎科目」と各学科に設置する「専門科目」の二つを教育課程編成方針の大きな柱とし、それぞれの学科の教育目標に応じたカリキュラムを編成する。「基礎科目」については、豊かな人間性を育む人文科学系、社会科学系、自然科学系、情報科学系、保健体育系及び国際的なコミュニケーション能力を高める語学系の6分野でカリキュラムを編成する。 「専門科目」では、全学科共通の「SD（Self-Development）プログラム」の中に、SA（student-assistant）を活用した少人数のクラス運営によるゼミ科目として「S.D.（自己啓発）Seminar」で始まる導入教育から、「基礎ゼミ」、「専門ゼミ」を配置するとともに、「キャリアデザイン」、「インターンシップ」を配置するなど、キャリア形成支援、就職までの一貫した流れを、形成する。 また、学科別の専門分野に係わる授業科目が、それぞれの学科の特色を生かせるよう豊富な専門科目及び関連科目を共にバランスよく年次ごとに編成する。 「経済学科」 経済学科では、経済理論、経済政策、経済組織などの論理的思考を養い、産業界はもとより経済と関わる他分野にも能力を発揮できる人材を育成するため、1年次ではそれぞれの基礎を学び、2年次からは進路選択や体系的な学修計画立案の一助とするため、「日本経済コース」「国際経済コース」及び「公務員コース」を設け、コースに応じた専門的教養を身に付けられるようカリキュラムを編成する。 また、中学校「社会」、高等学校「地理歴史」及び「公民」の教職課程認可を受けているため、効率的、効果的な履修可能なカリキュラム編成に努める。

「商学科」

商学科では、商取引に関わる幅広い専門分野を学び、物事を多面的に理解し、総合的に判断・対処できる実践的スキルを兼ね備えたビジネス・スペシャリストを育成するため、1年次ではそれぞれの基礎を学び、2年次からは進路選択や体系的な学修計画立案の一助とするため、「国際流通ビジネスコース」、「会計・財務コース」及び「ホテル・観光ビジネスコース」を設け、コースに応じた専門的教養を身に付けられるようカリキュラムを編成する。

また、高等学校「商業」の教職課程認可を受けているため、効率的、効果的な履修可能なカリキュラム編成に努める。

「経営法学科」

ビジネス領域の経営学、商学、情報処理などの科目及び企業経営に関連した法律科目をバランスよく学修し、経営実務に対応できるリーガルマインドを備えた人材を育成するため、1年次ではそれぞれの基礎を学び、2年次からは進路選択や体系的な学修計画立案の一助とするため、「公務員コース」を設け、専門的教養を身に付けられるようカリキュラムを編成する。

また、高等学校「公民」の教職課程認可を受けているため、効率的、効果的な履修可能なカリキュラム編成に努める。

「健康スポーツ経営学科」

経済学を基礎として、経営学と保健体育学の知識・技術を学び、スポーツ経営分野における独自性、専門性を兼ね備えたリーダーを育成するため、1年次ではそれぞれの基礎を学び、2年次からは進路選択や体系的な学修計画立案の一助とするため、「スポーツマネジメントコース」を設け、「トレーニング科学」、「スポーツ指導論」、「スポーツ栄養学」など、スポーツに関連する実践的知識が修得できるカリキュラムを編成する。

また、所定の科目履修により「スポーツリーダー」の取得及び通信制大学等との連携により中学校及び高等学校「保健体育」の教員免許取得が可能となるよう効率的、効果的なカリキュラムを編成する。

・ [経営学部]

経営学部では、「個性の伸展による人生練磨」という建学の精神に基づいて、経営学に関わる専門の学芸を教授し、幅広く深い教養及び総合的な判断力を培うとともに、豊かな人間性を涵養し、柔軟性のある人材を育成することを目的に、「基礎科目」と「専門科目」の二つを教育課程編成方針の大きな柱とし、学科の教育目標に応じたカリキュラムを編成する。

「基礎科目」については、経済学部と同様に、豊かな人間性を育む人文科学系、社会科学系、自然科学系、情報科学系、保健体育系及び国際的なコミュニケーション能力を高める語学系の6分野でカリキュラムを編成する。

特に留学生に対する日本語能力向上を図るためのカリキュラムの充実に努めるものとする。

「専門科目」では、経済学部と同様に、「SD (Self-Development) プログラム」の中に、SA (student-assistant) を活用した少人数のクラス運営によるゼミ科目として「S.D. (自己啓発) Seminar」で始まる導入教育から、「基礎ゼミ」、「専門ゼミ」を配置するとともに、「キャリアデザイン」、「インターンシップ」を配置するなど、キャリア形成支援、就職までの一貫した流れを、形成する。

また、専門分野に係る授業科目が、学部の特色を生かせるよう豊富な専門科目及び関連科目を共にバランスよく年次ごとに編成する。

「経営学科」

経営学科では、経営学、経営管理、経営組織を中心に、現代企業の合理的運営に関する理論研究と実務活動を有機的に学修し、実践的な経営スキルを身に付け、変化の激しい時代をたくましく生き抜く企業人を育成するため、1年次では基礎を学び、2年次からは進路選択や体系的な学修計画立案の一助とするため、「総合経営コース」、「デジタル・ビジネスデザインコース」、「社会起業家・事業承継コース」、「経営日本語コース」、「フードマネジメントコース」及び「マンガ・ゲーム産業コース」を設け、コースに応じた専門的教養を身に付け、社会に適応する力を獲

得するカリキュラムを編成する。

また、高等学校「商業」に加え東京・渋谷キャンパスでは「地理歴史」、「公民」、中学校「社会科」の教職課程認可を受けているため、効率的、効果的な履修可能なカリキュラム編成に努める。

「グローバルビジネス学科」

グローバルビジネス学科では、進路選択や体系的な学修計画立案の一助として「グローバルビジネスコース」及び「エアラインマネジメントコース」を設け、経営学、経営管理、経営組織を中心に現代企業の合理的運営に関する理論研究と実務活動を実践的な英語教育により培い、グローバルなビジネスを展開できるスキルを身につけるとともに卓越した英語力を駆使し世界のビジネスシーンで活躍できる企業人を育成するため、基礎（語学系）科目のみならず学科専門科目においても、ビジネスで欠かせない英語力を培う「総合英語」や「アカデミックライティング」などの科目を置く。また、語学系科目を除く基礎科目、および専門科目に、卒業に必要な124単位中、100単位程度は英語による授業を選択することができるようにし、英語での授業を通して、専門的知識や思考力のみならず、ビジネス展開のうえでのハイレベルな会話が英語で可能となるよう授業の達成目標を設定する。

「芸創プロデュース学科」

芸創プロデュース学科では、経営学、経営管理、経営組織を中心に現代企業の運営に関する理論研究と実務活動とを、経営活動の一つである芸能ビジネスの経営管理活動、およびファッションビジネスのマネジメント活動を通じて培い、芸能分野やファッション分野においてビジネスを展開できるスキルを身につけ、世界のビジネスシーンで活躍できる企業人を育成するため、1年次では基礎を学び、2年次からは進路選択や体系的な学修計画立案の一助とするため、「芸能マネジメントコース」及び「ファッションビジネスコース」を設け、コースに応じた専門的教養を身に付け、社会に適應する力を獲得するカリキュラムを編成する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：<https://www.jue.ac.jp/entry/>）

（概要）

情報公開第1号関係アドミッションポリシー

〔経済学部及び経営学部共通〕

建学の精神「個性の伸展による人生練磨」に則り、世界が求めるグローバル人材を輩出するため、深く経済・経営に関する学問を教授研究するとともに、体験型語学教育・情報リテラシー教育・コミュニケーション能力向上教育によるキャリア形成を重視した個別指導を実践する。

その目的を達成する多文化環境構築のため、本学は世界各国・地域から多様かつ豊かな個性を持ち、向上心とチャレンジ精神旺盛な学生を積極的に受け入れる。

求める学生像は次の通りです。

- ・自分らしい個性の確立をめざし、自己の実現に向けて専門職をめざす人
- ・国際的経済・経営分野に強い関心を持つ人
- ・将来グローバルなビジネス分野で活躍できる知識と語学力を身につけたい人
- ・ベンチャービジネス、起業をめざす人
- ・家業の後継ならびに事業の継続、発展をめざす人
- ・日本文化と日本的ビジネスに強い興味を持つ人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：

https://www.jue.ac.jp/wp-content/themes/jue/assets/images/pdf/j2_kihonsoshiki6.pdfに記載

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）								
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計	
－	1人	－					1人	
経済学部	－	29人	16人	22人	人	人	67人	
経営学部	－	40人	15人	20人	1人	人	76人	
b. 教員数（兼務者）								
学長・副学長		学長・副学長以外の教員						
1人		143人						144人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： https://www.jue.ac.jp/aboutus/release/ に記載						
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）								
<p>経済学部の下にFD委員会を組織し、FD委員会が主体となり教授方法の改善を実施している。例えば、ゼミを除く全授業の受講生に対し各学期1回の授業アンケートを実施し、その集計を元に授業の振り返り、且つ次学期に向けた改善を促している。また、任意の授業を互いに参観し、感想文を授業担当の教員に戻すことで忌憚のない意見を出し合い、教授方法の向上に繋げている。また、各期に1回、全教員参加の研修会を実施し、3ポリシーの確認と主情報の共有を図っている。</p> <p>経営学部においても、同様にFD委員会が主体となって、教授方法の改善を実施している。経済学部と同様、授業アンケート、教員相互の授業を見学し、意見交換を実施するといった取り組みをしているほか、学生管理（留学生を含む）、研究倫理、就職支援、ハラスメントなど、部署横断的にすべての教員に知っておいてほしいテーマを厳選し研修している。研修によっては、外部の専門家を招聘するなど、最新かつ教育及び研究実務に役立つ内容を吟味しており、教育の質的向上を目指した活動を実践している。</p>								

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、9在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
経済学部	610人	491人	80.4%	2240人	2097人	93.6%	若干名	0人
経営学部	800人	673人	84.1%	3880人	3166人	81.5%	若干名	13人
合計	1410人	1164人	82.5%	6120人	5263人	85.9%	人	13人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
経済学部	336人 (100%)	2人 (0.6%)	253人 (75.3%)	81人 (24.1%)
経営学部	658人 (100%)	20人 (3.1%)	370人 (56.2%)	268人 (40.7%)
合計	994人 (100%)	22人 (2.2%)	623人 (62.7%)	349人 (35.1%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>* 授業計画(シラバス)の作成 担当科目が決定した段階で、本学の学事システムに、学習目標(到達目標)、授業概要(教育目的)、成績評価の方法、基準など所定の内容を入力</p> <p>* 授業計画(シラバス)の公表 大学ホームページにて公表。公表時期は3月下旬</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>学則第14条(単位認定)及び履修規程第4章「単位」・第5章「試験」・第6章「成績」に基づき、授業計画(シラバス)記載の成績評価方法により、厳格かつ適正に評価し単位付与を実施している。</p> <p><学位授与(認定)の基本方針> ディプロマポリシーを策定し、公開するとともに、学則第10条(修業年限)および第20条(卒業要件)別表2(卒業所要単位)に基づき、「本学に4年以上在籍し、基礎科目34単位、専門科目80単位(うち必修科目20単位)、さらに基礎科目および専門科目から10単位修得し、合計124単位以上を修得」したものに對し卒業を認定している。</p>				
学部名	学科名	卒業に必要な 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
経済	経済	124単位	有・無	1年次44単位 2年次以降48単位
	商	124単位	有・無	1年次44単位 2年次以降48単位
	経営法	124単位	有・無	1年次44単位 2年次以降48単位
	健康スポーツ	124単位	有・無	1年次44単位 2年次以降48単位
経営	経営	124単位	有・無	1年次44単位 2年次以降48単位
	グローバルビジネス	124単位	有・無	1年次44単位 2年次以降48単位
	芸創プロデュース	124単位	有・無	1年次44単位 2年次以降48単位
GPAの活用状況(任意記載事項)		公表方法:		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法:		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法: https://www.jue.ac.jp/aboutus/release/ に記載

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

・福岡キャンパス

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
経済学部	全学科	660, 000 円	190, 000 円	220, 000 円	
経営学部	全学科	660, 000 円	190, 000 円	220, 000 円	

・神戸・三宮キャンパス

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
経済学部	全学科	660, 000 円	190, 000 円	220, 000 円	

・東京・渋谷キャンパス

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
経栄学部	全学科	660, 000 円	200, 000 円	430, 000 円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスカウンセラー 全学生を少人数のゼミクラスに編成するとともに、クラスカウンセラー（学級担任制）を配置し、学生の学習・生活全般にわたる指導や進路相談等きめ細かい指導を実施している。 ・オフィスアワー 各教員は、授業時間割上でオフィスアワーの時間を設定し、当該時間帯に各研究室に在室し、授業内容に関する質問や学生相談、就職相談等、学生が自ら教員に面談を求める時間を確保している。 ・教養基礎講座 授業科目とは別に、学生の興味ある科目を提供し、学習意欲の向上を図っている。 ・「なんでも相談」ウィーク 「なんでも相談」ウィークを設定し、学習・生活全般において、何でも相談できる雰囲気醸成に努め、学生が孤立せずにコミュニケーションが図れるよう支援している。 ・学生ニーズ調査 学校生活に困りごとが無いかといった質問紙調査を実施している。 ・授業の学習支援 入学前の教材学習支援システム、習熟度別クラス編成、個人指導 ・学習情報の提供 オリエンテーション、成績表の配布・履修指導、学生情報パソコンの利用、掲示板
b. 進路選択に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>概要) 1年時から将来を考えるカリキュラムを基に、就職活動にとどまらず、学生ひとりひとりの個性を活かし、キャリア全般のサポートを行っている。インターンシップ制度をいち早くとり入れ、幅広い業種の受け入れ先で、大学の学びを実践できる場を提供。キャリアサポートセンターでは、いつでも相談に応じる体制を整え、個性豊かで有能な学生を幅広い分野に送り出すために、就職先の開拓も強化している。</p>
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康調査 新入生・編入生に対し大学提出書類で健康調査を行い、心身の不調の有無・健康相談の希望を確認。必要時には健康相談を実施している。また、通院治療中の学生には健康状態や、学業に支障が出ていないか経過を把握し、支援を実施している。 ・学生・教職員のカウンセリング 学生、教職員に対するカウンセリングを実施している。 特に教職員に関しては学生対応についての相談を実施し、連携を取ることで学生への対応がスムーズに行える。

また、教職員が報告することで、学生を相談室へ促すこともある。

・心の健康調査

福岡キャンパスの全学生を対象とするWebアンケートを行い、調査結果を悩みや心理的問題を抱える学生の支援に活用した。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<https://jue.repo.nii.ac.jp/>に記載